

## 口永良部島の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

GPS 連続観測では、2008 年 9 月以降認められていた新岳火口浅部の膨張を示す変化が今年 2 月頃から鈍化し、6 月以降は認められなくなりました。

火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続いています。

これらのことから口永良部島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、本日（4 日）11 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引下げ、火口周辺警報を解除しました。

### ○ 活動概況

#### ・地殻変動の状況（図 2）

GPS 連続観測では、2008 年 9 月から続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化が、2009 年 2 月頃から鈍化し、6 月以降は認められなくなりました。

#### ・地震や微動の発生状況（図 1、図 3）

火山性微動は 5 月 23 日以降観測されていません。火山性地震は少ない状態が続いています。

#### ・噴煙など表面現象の状況（図 1、図 3）

遠望カメラ（新岳火口の北西約 3 km）の観測では、<sup>しんだけ</sup>新岳火口から白色噴煙が時々観測されています。

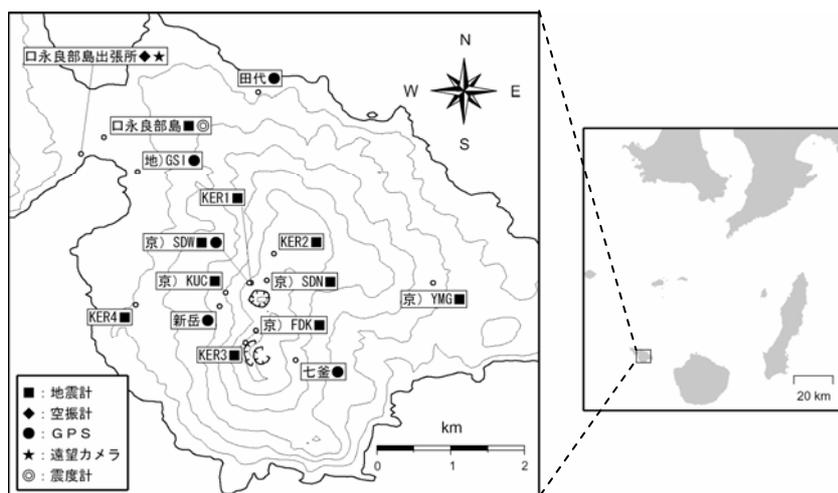


図 1 口永良部島 観測点配置図

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

※この資料は気象庁のほか、京都大学、国土地理院及び独立行政法人産業技術総合研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

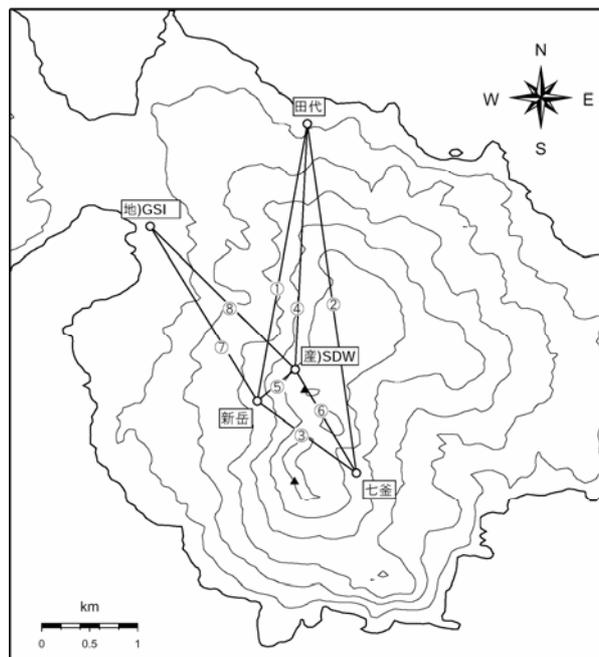
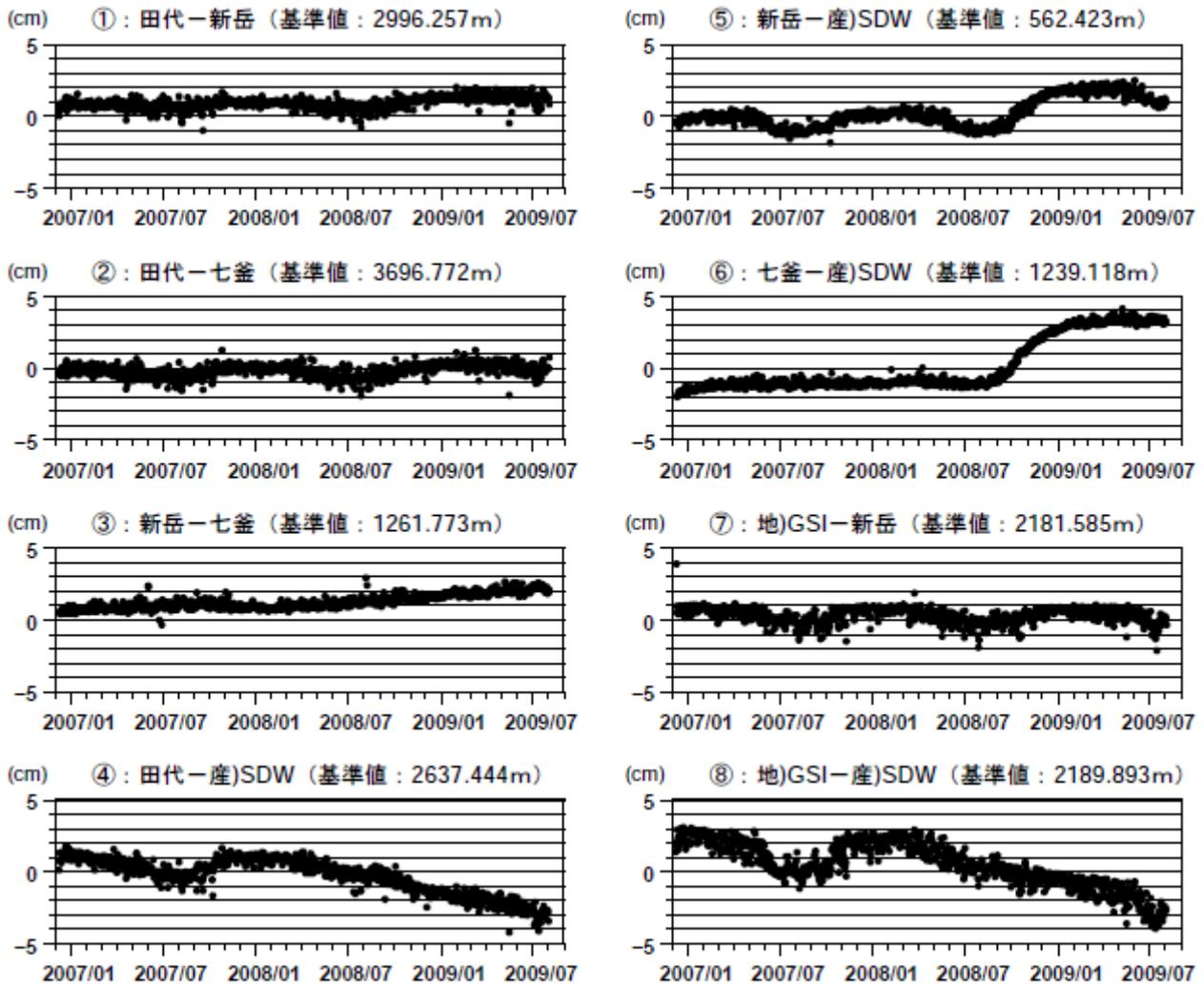


図2※ 口永良部島 GPS連続観測による基線長変化(2006年12月1日~2009年8月2日)  
2008年9月から続いていた新岳火口浅部の膨脹を示す変化が、2009年2月以降鈍化し、6月に入り認められなくなりました。

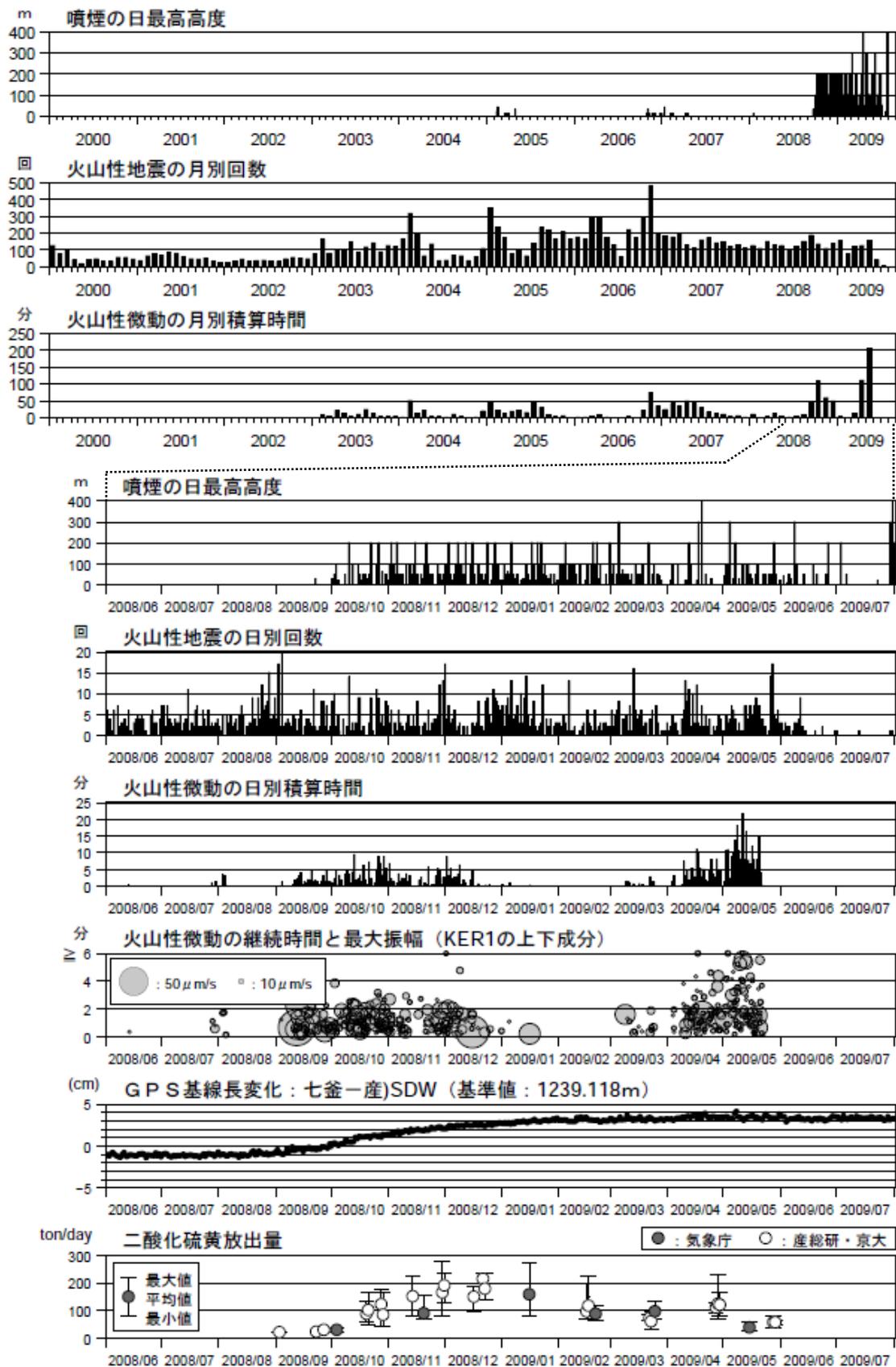


図 3※ 口永良部島 火山活動経過図 (2000 年 1 月 1 日～2009 年 8 月 2 日)

- ・新岳火口から白色噴煙が時々観測されています。  
しんだけ
- ・火山性微動は 4 月以降やや多い状態が続いていましたが、5 月 23 日以降観測されていません。
- ・火山性地震は少ない状態で経過しました。